

## 第3章

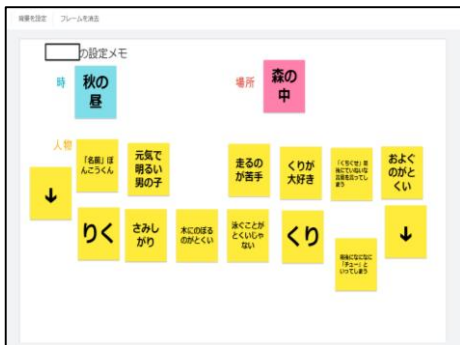
## 授業の展開や終末における1人1台タブレット端末を活用した授業実践 ～美里町立励徳小学校（国語科）～

授業の展開や終末において、1人1台タブレット端末を使って、自分の考えをまとめて交流したり、「振り返り」を行ったりしている。



【スライドに自分の考えをまとめている様子】


6年生の国語科「海のいのち（東書）」では、スライドを使って登場人物の関係や心情等について自分の考えをまとめた後、それをグループで話し合い、更に、全体での交流を通して最終的な自分の考えをまとめていく学習を行っています。



【児童が作成した構成メモ（ジャムボード）と、それを全体で共有している様子】



3年生の国語科「物語を作ろう（東書）」では、ジャムボードを使って設定メモを作成しています。また、お互いにアドバイスをし合い、メモを増やしたり削除したりして、物語の構成メモを作成する学習を行っています。

6年国語 ふりかえりシート ☆ 田 ◎					
ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール アドオン ヘルプ 最終編集:数珠前					
ベアグループ、全体で話し合ったことを心にした					
B	C	D	E	F	G
日付	今日の授業で「わかった」「できた」と思えた事はあるか?	どのような学びがあったのか? 「わかった」「できた」ようになりませんか?	今日の授業前と授業後で自分の考えがレベルアップしたと思えますか?	次の授業でももっと知りたい・学びたいと思うことや、今日の授業の感想を書きましょ	
6/10	はい	これまでの自分の体験と結びつけた。	レベルアップした	意見、根拠、理由の3つを忘れずにしたいです。自分の経験を生かして考えられたので良かった。	
6/11	はい	その他	とてもレベルアップした	みんなの考えを知ることができて、選んだメディアは同じだけれどそんな理由があるんだと感じた。	
6/14	はい	ベアグループ、全体で話し合った	レベルアップした	みんなの考えで、納得しやすくて具体的に書くうまく使っていたのでまねしたいと思った。	
6/16	はい	その他	レベルアップした	みんなの意見の内容が変わっていて、こんな言い方もあるんだと感じた。	
6/17	はい	その他	レベルアップした	どうやって「居場所探し」の作業を進めていくのが分かった。少し進め方がなった。	
6/18	はい	ベアグループ、全体で話し合った	レベルアップした	ベアとカカロウの両方の人物像をグループで話し合っただけでいいなと思いました。	
6/21	はい	ベアグループ、全体で話し合った	とてもレベルアップした	全体で話し合って、クルルの人物像にブラインドが	
6/22	はい	その他	レベルアップした	自分なりに先生の言葉をヒントにして書き進めた。	
6/23	はい	その他	とてもレベルアップした	小さな間を見つけてまとめられた。場面1の間を	
6/24	はい	ベアグループ、全体で話し合った	とてもレベルアップした	全体グループで話し合った文からクルルの気持ち	
6/25	はい	ベアグループ、全体で話し合った	とてもレベルアップした	題名の意味や4の場面の人物像を全体で話し合った	
6/28	はい	ベアグループ、全体で話し合った	とてもレベルアップした	みんなの意見に納得することができた。紹介する	
6/31	はい	今まで学習してきたことを使った	レベルアップした	海狗の構成と登場人物3分の4、太一の変化が分	
6/6	はい	その他	レベルアップした	海のちの4の場面と3の場面の一文字列を全	
6/7	はい	その他	とてもレベルアップした	海のちの4の場面と5の場面の要約ができた。	
6/8	はい	その他	とてもレベルアップした	と吉しいさと一太一についての問いを解決すること	
6/9	はい	その他	とてもレベルアップした	太一の母と一太一についての問いを解決できた。	
6/15	はい	その他	とてもレベルアップした	太一についての問いをほんと解決できた。た	
6/16	はい	ベアグループ、全体で話し合った	とてもレベルアップした	太一がクエをつけたことで、海がこれくらい	
6/22	はい	今まで学習してきたことを使った	レベルアップした	町の手帳簿の構造、本籍、結婚と再婚の役	
6/23	はい	ベアグループ、全体で話し合った	とてもレベルアップした	と吉しいさについて(おじいちゃん)	
6/24	はい	ベアグループ、全体で話し合った	レベルアップした	コミュニティデザインで重要なこと。(6段階)	
6/25	はい	ベアグループ、全体で話し合った	レベルアップした	コミニティ発展の役割と要約が分かった。説明には、「つなぐ」という役割を持っている段階があるというこ	

【児童一人一人の「振り返り」をまとめたスプレッドシート】

授業の終末では、スプレッドシートを使って教科や発達段階に応じて設定した視点に沿って、子供が選択したり、記述したりしながら「振り返り」を行っています。

「振り返り」は、授業の中で取りまとめたページを電子黒板上で示すことで、学びや気づきを共有することができます。また、これまでの「振り返り」の記述をお互いにいつでも見ることができ、次の時間の問いやめあてを考えたり、友達の学び方や考えを参考に自分の学び方や考えを見直したりしています。

## 体育の授業において、タブレットを有効活用し、自己の伸びを視覚的に理解させ、学び合いや意欲喚起につなげる取組

～山鹿市立米野岳中学校（保健体育科）～

各領域において、タブレットを活用し、技能面の課題等を明らかにするとともに、伸びを視覚的に理解させ、お互いに学び合いながら課題解決学習につなげている。



個人で技能面の確認をしている様子

単元のゴールの姿を生徒と教師が明確に共有することで、意欲的な活動につなげています。自分の課題を明らかにするためにタブレットを活用し、お互いに気づきを伝え合い、共に伸びようとする姿が見られ、自ら学ぼうとする姿が増えています。

技能面を確認するため、タブレットを活用してビフォーアフタービデオを製作し、自分の成長を確認させ、次への意欲喚起及び評価につなげています。そのことが主体的に学習に取り組もうとする態度の向上につながっています。



お互いに確認し合っている様子



Before

スタート時の肩の位置に着目し、技能面の向上を狙っています。Afterでは出発線より肩が前に出ている様子が伺え、生徒自身も技能面の変化（伸び）を実感していました。



After



## 児童と教師のICT活用のスキルアップに向けた取組～ ～ 菊池市立隈府小学校 ～

児童や教師が、ICT活用のスキルアップを図り、効果的に活用することで、児童の「考えたい」「やってみたい」という知的好奇心が喚起され、「もっとわかりたい」という次への学びの意欲が高まると考え、①児童によるICT活用 ②教師のスキルアップを視点にして取り組んでいる。

### ①児童によるICT活用



ICTタイム（朝活動）



毎週金曜日の朝活動を「ICTタイム」とし、タブレットの基本操作や、カメラの使い方等について学習しています。カメラを使う際は、情報モラルに関連した話も行っています。

6年生の国語では、タブレットを活用し、図や資料の大きさや配置を工夫したり、記事の割り付けを考えたりしました。

2年生の体育では、前転しているところを動画に撮り、グループで見合う活動を行いました。

朝活動や授業等を関連させ、児童のICT活用のスキルアップに向けて、取り組んでいます。



6年国語（防災ポスターを作ろう）



2年体育  
（マットを使った運動あそび）



4年社会（わたしたちの県  
「プログラミング学習」）



1年 学級活動  
（給食ってなあに）

朝活動や各教科の授業においても、タブレットを活用し、ドリル学習を行っている。

### ②教師のスキルアップ



オンライン授業時にWi-Fiが繋がらないという連絡が多い。そのため、ICT部から出された操作の手順を活用し、全職員で確認した。

月に1回、金曜日の放課後を活用して、「ひとくちICT」を各学年部で実施しています。この時間は、授業で情報機器を活用する中での悩みを解決したり、情報機器の効果的な活用の仕方や事例等を共有したりする時間としています。

校内研修でも、児童に活用させるソフトを実際に活用しながら研修を進めています。機器やソフトを活用する基本的な方法、有効な活用の仕方等を、全職員で共有する時間を改めて設定することは難しいため、校内研修の中で、考えを共有したり、報告したりする時に、ソフトを実際に使っています。実際に使うことで、教師自身が操作方法を習得したり、授業での活用場面を考えたりすることができています。



オンライン授業に向けて、  
教師同士で「Teams」の  
研修をしている様子



校内研修で実際に情報共有の  
ソフトを活用している様子

### 第3章

### 【主体的・対話的で深い学びにつながるICTの効果的な活用】実践例

技能習得活動におけるタブレットの活用が、自己の確かな変容の客観的把握と、それに伴う言語活動の促進につながる工夫

～菊池市立泗水中学校（3年保健体育科）～



1人1台のタブレット端末を「自己の変容を確認し、達成感につなげる」手段として、また、「自己の課題を把握し、技能習得の過程を言語として示す力の育成」の手段として活用し、「わかって、できる」生徒の育成につなげる工夫を行っている。

タブレットと学習シートとの連動が、これら二つの手段に有効に作用している。

1人1台タブレット端末の整備により、自分の技能動画を自分のタブレットに撮りためることが可能となります。自分ができているところ、できていないところを客観的に見ることで、課題を把握したり、成長を実感したりすることができています。

運動が苦手な生徒においても、他者との比較ではなく、自己の変容を見ることを通して、達成感を味わったり、学習意欲の向上につながったりしています。

動画を見るばかりではなく、現段階で、自分は何ができて、何ができていないのか、何をどう取り組んだから変容が見られたのかななどを学習シートに書き込み、言語として表現する学習を取り入れることにより、「わかって、できる」生徒の育成にもつなげることができています。

### 第3章

### 【主体的・対話的で深い学びへとつながるICTの効果的な活用】実践例

体育の授業における、タブレットPCの動画機能を活用した取組

～高森町立高森中央小学校（6年体育科）～

児童は、技能のポイントや課題を確認するために技の局面（助走、踏切、跳躍動作、着地）ごとに動画を撮影している。また、技能のポイントや課題を明確にすることができるよう「どこに着目するのか」という視点を持って、自らの動画を確認したり、模範の画像と比較したりして、技能習得につなげている。



走り高跳びの技能習得に向けたペア活動において、タブレットPCを活用しています。児童は、撮影した動画を確認する際、既習技能を局面ごとに分け、「体の動きのどこに着目するのか」「他者と比較してどこが違うのか」という視点を持ちながらペアで議論します。

視点を持つことにより、「踏切のときに腕の振りも大きくなっている」「助走の歩数によってタイミングが変わっている」等、体の動きに関する具体的な気付きをお互いに伝え合い、対話的な学びにつながっています。



### 第3章

## 【主体的・対話的で深い学びへとつながるICTの効果的な活用】実践例

### ICTの効果的な活用による授業改善を通して～芦北町立田浦中学校～

主体的に学びに向かい、協働して課題を解決するために、ICTを効果的に活用している。

めあて  
網状脈と  
平行脈の  
植物の茎  
のつくり  
にはどの  
ような違  
いがある  
のだろう  
か。

ICTを活用



ICTと紙媒体  
両方を活用

顕微鏡で観察している茎の断面をタブレットPCで撮影し、丸で囲む。拡大できるため、より詳しく観察でき、丸で囲むことで焦点化できる。



撮影した写真をノートにスケッチする。紙媒体の記録にも残す。顕微鏡でのぞきながらスケッチをするより描きやすい。

ICTを活用



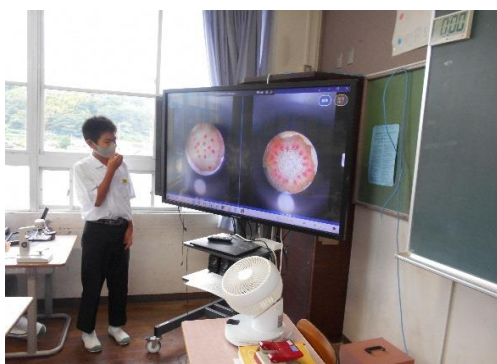
網状脈と平行脈の茎の断面を1枚ずつ選び、グループ内で比較する。2枚の写真を並べて比較できる。

ICTを活用



生徒全員の写真を比較する。教師は、全員の学習状況を把握することができる。

ICTを活用



網状脈と平行脈の茎の維管束のつくりの違いを全体で共有する。大型テレビに映し出すと、全体で共有できる。

拡大して観察したり、観察内容から分かったことを紙媒体に直接書き込んだりする学習場面で、ICT機器と紙媒体のそれぞれのよさを活かすことができます。

更に、教師は、生徒全員の学習状況を一括して把握することができます。

また、グループや全体で画像を比較することにより、課題解決へ向けた深い話し合いを行うことができます。

### オンラインでの共同編集機能を使った推敲の取組 ～氷川町及び八代市中学校組合立氷川中学校（2年国語科）～

A L Tの先生に氷川町の魅力を伝える発表原稿を、T e a m sのW o r d共同編集機能を使ってグループで作ることで、学習過程を共有しながら学び合いが生まれている。



共同編集機能を使ってグループで発表原稿を作ることによって、作成時間が短縮され、推敲に時間をかけることができます。

また、お互いの文書を見ながら作成することができるので、学習過程を共有しながら自然に学び合いが生まれています。

さらに、グループの机を三角形にして会話をしやすくすることで、パソコン上で発表原稿を共有しながら、質問や意見などのコミュニケーションも直接取れるので、対話的な学びも充実します。

最後に、完成した発表原稿を電子黒板に映し出して、各グループのよいところを全体で共有することができます。